

【試合結果】																					
2017年7月9日(sun) 13:00~																					
会場	北見道立体育館																				
結果	北見小泉	62	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>—</td><td>26</td></tr> <tr><td>16</td><td>—</td><td>9</td></tr> <tr><td>14</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>24</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	14	—	26	16	—	9	14	—	11	18	—	24	—	—	—	70	北見南	
14	—	26																			
16	—	9																			
14	—	11																			
18	—	24																			
—	—	—																			
審判	主審	石井 康貴	副審	岩本 竜育																	



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

北見小泉									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	桑島 花鈴	×	17	1	6	2	2	0	4
5	工藤 彩唯	×	22	0	9	4	5	6	3
6	渡辺 絵吏	×	13	1	5	0	3	1	4
7	平泉 さくら	/	2	0	1	0	0	0	0
8	古川 美桜	×	4	0	2	0	5	2	0
9	小泉 葵	×	4	0	2	0	0	1	2
10	河合 花奈								
11	富塚 優七								
12	市田 妃奈花								
13	小池 ななみ								
14	尾形 まどか								
15	山崎 菜月								
16	野理 奏季								
17									
18									
C	伏見 元								
合計			62	2	25	6	15	10	13

北見南									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	北野 陽菜	×	15	1	5	2	1	1	1
5	塩田 あみ	×	28	4	6	4	3	4	1
6	小川 茉那	×	6		3		2	1	2
7	湯浅 芹那	×	10	2	2		5		1
8	小久保 瑞希	×	11		4	3	2	8	3
9	太田 咲樹								
10	畑山 瑠衣								
11	杉野 礼佳								
12	木村 美咲	/	0	0	0	0	0	1	0
13	森 真秀								
14	与羽 美珠								
15	阿部 花香								
16	山下 はな乃								
17	井上 美優								
18	伊藤 芽生								
C	伊藤 浩司								
合計			70	7	20	9	13	15	8

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー DR=ディフェンスリバウンド OR=オフェンスリバウンド

【ゲームレポート】

女子決勝、北見南—小泉の対戦。2ヶ月前の春季大会では72—45と大きくリードを広げて小泉が勝利、3週間前の市内大会では僅差で北見南が勝利しており、どちらに勝利が転ぶかわからない一戦。

1Q、北見南4、5、6、7、8、、小泉4、5、6、8、9でスタート。小泉は6のアシストパスから周りの選手がレイアップ、ジャンプシュートと得点を重ねる。北見南は8のインサイドを起点に、インアウトで流れを作り確実にオープンシュートを作り出していく。開始6分、19—10と北見南がリードを広げたところで小泉がタイムアウト。しかし、小泉はなかなかリズムをつかむことができず、点差を縮められない。1Qは26—14と北見南がリードして終了。

2Q、小泉は1Qよりも高い位置からのプレッシャーディフェンスで北見南のミスを誘い、レイアップで点差を縮めていく。開始4分、29—24と点差が縮まり出すと、北見南がパスミス多発。2Qは35—30と北見南がリードのまま終了。

3Q、北見南は5、8のハイ・ロープレーで相手を翻弄する。小泉はノーマークのアウトサイドシュートを作り出すが決まらず、得意の速い展開にも繋がらずリズムをつかめない。小泉は5のジャンプシュートやドライブでなんとか食いついていくが、北見南は5がことごとくジャンプシュートを沈め、小泉の追撃を許さない。残り1分、小泉5の連続得点で一気に点差が縮まり、3Qは46—44と北見南がリードで終了。

4Q、開始1分、小泉がリバウンドからのブレイクで46—46の同点に追いつく。1分半を経過したところでそれまでことごとく外れていた小泉6の3Pシュートがようやく決まり、小泉がついに逆転。北見南は8のインサイドプレーですぐさま逆転し返すが、流れをつかんだ小泉はディフェンスの足も動き出し、両チームのゲームテンポが上がる。残り2分25秒、60—53と北見南がリードを広げたところで小泉がタイムアウト。最後まで点差は縮まらず、70—62で北見南が優勝。

記録:三鍋 健太(紋別市立潮見中学校)